

4 LX(ローカル・トランスフォーメーション)の推進

(4) 産業競争力の強化 ③ 半導体産業に対する支援

国への提案事項

国内の半導体産業の国際競争力強化に向けて、次の対策を講じること。

1 持続的な研究開発・投資に対する手厚い支援の実施

- 半導体企業が国際競争力維持・強化を図るには、数千億円単位の研究開発・生産設備への投資を継続して実施することが必要不可欠であり、国においても、先端半導体生産基盤整備基金を積み増すなど、国内生産拠点確保のため、継続的な支援を行うこと。
- 用地・工業用水・電力等を安定的かつ安価に供給できる環境整備に向けた支援や対策を実施すること。特に電力については、燃料価格の高騰等により電気料金が急激に上昇しており、事業活動に大きな影響を与えていることから、電気料金の引き下げにつながる政策を速やかに検討・実施すること。

2 半導体関連人材の育成と確保

- 半導体人材は、主要な半導体企業でも、今後10年間で35,000人、半導体関連企業も含めるとさらに多くの人材が必要と見込まれているため、初等教育から高等教育まで、それぞれのステージに適した半導体に係るカリキュラムを提供するなど、本県も構成員となっている「中国地域半導体関連産業振興協議会」を通じた総合的な半導体人材の育成や地域における人材確保などへの支援を行うこと。
- 広島大学など、地方において半導体の研究開発を行っている大学に対し、教授等の増員や学生の定数増、半導体研究・製造設備への財政支援など、高度人材の育成環境を整備すること。
【提案先省庁:経済産業省, 文部科学省】

4 LX(ローカル・トランスフォーメーション)の推進

(4) 産業競争力の強化

③ 半導体産業に対する支援

現状／国の取組状況等

- 国は、半導体・デジタル産業戦略(令和3年6月)を策定。
- 令和3年度補正予算において、先端半導体生産基盤整備基金として6,170億円、サプライチェーン上不可欠性の高い半導体の生産設備に対して、470億円を措置。基金については、本県に拠点を置くマイクロン社に最大465億円の助成が決定。
- 経済産業省が主導し、行政機関、産業界、教育機関等で構成する半導体関連の人材育成を行う団体が全国各地域で設立されており、令和4年10月には本県も参画する「中国地域半導体関連産業振興協議会」が設立された。
- また、本県は、広島大学ナノデバイス研究所を核とし、産官学連携して研究開発や研究開発などに携わる中核人材の育成などを行う「せとうち半導体共創コンソーシアム」の設立にも取り組んでいる。
- 本県に拠点があり、国内唯一のDRAMメモリ半導体メーカーであるマイクロンメモリジャパン広島工場は、世界のDRAMの約8%を生産し、研究開発機能から生産まで一貫した施設を有する貴重な拠点。

課題

- 国内の半導体関連産業の国際的な競争力を維持・向上していくためには、中長期的な視点で半導体関連の人材確保・育成が必要である。
- 本県には、国内唯一の最先端メモリ半導体(DRAM)工場に加え、パワー半導体《三菱電機》やロジック《シャープ》の工場があり、半導体産業の国際競争力維持など基盤強化のためにも、規制緩和、安価な用地・工業用水・電力等の確保、人材育成などに積極的投資が必要である。

目指す姿

- 産学官が連携したエコシステムの構築が必要である。

